

## 平成21年第4回(9月)瀬戸内市議会定例会

### 行政報告

本日は、平成21年第4回(9月)瀬戸内市議会定例会を招集いたしましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、まことにありがとうございます。

7月19日に就任させていただきましたが、あっという間の1月余りが過ぎました。その間、市長としての責任の重大さを痛感しながら、まずは、瀬戸内市の総点検の期間と位置づけ、今後の財政運営、政策の方向性について、議論してまいりました。財政は決して良い状況とは言えません。解決しなければならない課題もたくさんあります。しかし、そのことを理由に飛躍の機会を逃してはなりません。

誇るべき瀬戸内市の良さや素晴らしさを活かし、削るべき無駄は削って、将来の子どもたちのためにできることを市民の皆様とともに始めたいと考えます。

市民の皆様は自分たちでできることをまず考えて下さい。市役所は市民の皆様の活動を懸命に支えていきます。企業・団体の皆様もまちづくりにぜひ力をお貸しください。

私は、これまでの地方自治を専門とした経験をもとに、柔軟な発想と行動力で、フェア(公正)なルールに基づいて瀬戸内市の将来を示しながら、

その実現に向けて攻めの自治体経営に挑戦します。皆様のご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

それでは次に、具体的な市政の方針について述べたいと思います。

まず、休日・夜間、救急の際にも頼れる医療環境をつくります。

市民からさらに求められている医療は、救急対応と安心して入院できる場所を確保することだと考えます。そのために市民病院の役割がどうあるべきかをまとめます。

次に、障害者の活躍の場を増やします。

障害者の皆様が地域で自立的に生活していけるよう、まず、市役所自体の障害者雇用率を高めるなど、障害者の活躍の場を増やすとともに、障害者やその家族にとって必要な支援を行います。

高齢者を地域で支える仕組みをつくります。

高齢者の皆様が、自分らしく住み慣れた地域で生活し、地域に貢献していただけるよう、まず、地域ぐるみで高齢者を支える仕組みをつくり、必要なサービスを安心して受けられるようにします。

子どもを通わせたい学校園のあるまちをめざします。

保護者の皆様にとって、安心して子どもを通わせることのできる学校園をつくります。大きな学校では、少人数指導によるきめの細かい教育を行

い、小さい学校では、社会性を身につけさせる工夫を、各学校が取り組めるようにし、児童生徒が自ら学力を伸ばしていけるような学校園を作ります。

また、学校施設の安全性を高めるため、耐震化をはかり、災害の際にも安心できるまちをめざします。

市民の皆様が生涯を通じて、教え合い学び合うまちをめざします。

年齢や職業に関わらず、市民が市民を教え合うことによって学びの輪を作り、市民どうしが学びあう機会を増やします。

地域の文化を守り育てます。

刀剣の里、虫明焼、朝鮮通信使や竹久夢二、竹田喜之助など地域の誇れる地域資源や文化を市民の皆様とともに再認識し、必要な情報発信や価値を高めるための取組みを進めます。

子どもから高齢者まで、それぞれの生活に応じて、読書や学習の機会を持てるまちをめざします。

子どもや高齢者にも利用していただきやすい、ユニバーサルデザインの図書館のあり方をまとめ、より多くの市民に読書の楽しさに触れていただけるような取組みをすすめます。また、子どもたちの居場所づくりも併せて検討していきたいと考えます。

10年後を考えて、地域全体で子育てを担うまちをめざします。

保護者の皆様や、これから子どもを産み育てる世代の皆様にとって、子育てしやすい瀬戸内市をめざします。そのために、今後、子どもが増えることが予想される地域や、子どもが減ることが予想される地域、それぞれに応じた子育て支援の枠組みをつくります。

子どもの病気や夏休みの際、さらには、保護者の皆様が子どもをちょっと預かってほしい時などにも、地域でしっかりと子育てを応援できるようにします。

将来の市民に素晴らしい環境を残す取組みを進めます。

市民の皆様が、自分たちの出すごみに責任を持っていただけるよう、瀬戸内市のごみ処理のあり方をまとめます。その際、ごみ処理コストや環境への負荷を意識して、分別や再資源化、減量を積極的にはかります。

また、CO<sub>2</sub>の削減に市役所自らが取り組みます。

錦海塩田跡地近隣住民の生活を守り近隣地域の将来構想を考えます。

排水の問題を国、県と連携しながら解決し、市民の不安をなくします。

さらに、中長期的にみて、環境に配慮し、人の雇用と地元産業への波及効果の高い取組みに対して、市としてできる支援を積極的に行います。

世界の人々に訪れてもらえる瀬戸内市をめざします

世界の人々が何度も訪れて下さるように、牛窓をはじめとした地域の資源を生かしながら、民間による投資や専門家の知恵を借り、四季を通じた魅力をつくります。

瀬戸内らしさを活かした独自性のある強い産業をめざします。

市内外の産業が交わり、発展する機会をつくり、新しい産業を見出し、まちの経済力を高められるように支援します。

また、地元の農産物、水産物を瀬戸内ブランドとし、市民や観光客の皆様が気軽に買える機会を増やします。農業者、漁業者の経営が安定するような生産基盤の整備をします。

地域の安全をみんなで守れるようにします。

非常時にも市民の皆様が生活を守れるように、平常時からの備えを進め、自主防災組織などを増やし継続的に活動していただけるように働きかけます。

下水道整備の費用を抑えて受益と負担のあり方を考えます。

現在の市民と将来の市民の皆様にとって世代間の公平性が守られるように、下水道の整備に当たって将来の負担を抑える工夫をして、下水道計画の見直しをします。

最後に、市民に役立つ市役所をつくりたいと考えます。

そのために次の取組みを進めます。

- 市民や企業がまちづくりに積極的に関わることができるような、補助金などの支援の仕組みをつくりまます。
- 民間の徹底したコスト管理の手法を生かし、予算の無駄を省くとともに、職員が、「市民から預かった税金」という意識に併せて、「自分のお金」として使い方を賢く考えていくようにします。
- 市長就任時点での瀬戸内市全体の「連結バランスシート(貸借対照表)」を作成し、毎年その改善状況を公開し安心して瀬戸内市で生活していただけるようにします。
- 市長自ら研修講師を務めたり、専門家の力を借りながら職員の能力開発の機会を増やしたりすることによって職員の能力が発揮していけるようにします。
- 総合計画を見直し、目標を定め、取組みの達成状況を数値で示しながら市民にわかりやすく公表します。
- 間違いや不正の起こりにくい組織をつくるため、内部統制(お互いが確認しあう仕組み)を見直します。

これらの取組みを進めるため、議会、市民の皆様には、ご負担をおかけすることもいろいろあると思いますが、厳しい財政状況を乗り切り、瀬戸内市の将来を明るいものにするために、どうかご協力をよろしく願います。

たします。

以上申し上げ、早速ではあります但行政報告に移らせていただきます。

## 総務部関係

副市長・教育委員（教育長）の公募状況について

瀬戸内市の目指すまちづくりに対して、行政または民間での豊かな職務経験を生かし、深い見識、豊かな発想力と熱意をもって取り組んでいただける副市長・教育委員（教育長）を、市役所内外を問わず8月10日から9月4日まで幅広く募集しています。

8月28日現在での受理状況ですが、副市長候補19名、教育委員（教育長）候補7名です。内訳ですが、副市長候補が県内10名、県外9名、教育委員（教育長）候補が県内4名、県外3名です。（副市長候補 - 女性1名）（市内 - 副市長候補1名、教育委員（教育長）候補1名）

また、今後のスケジュールですが、9月4日締め切り後、第一次審査として経歴・課題論文等により書類選考を行い、合格者を対象に二次審査の個別面接を9月26日（土）、27日（日）に行う予定です。

なお、候補者が決定しましたら議会へ人事案件として提案させていただきたいと考えますのでよろしくお願いいたします。

## 企画財政部関係

## 定額給付金について

本市の定額給付金申請書の受付につきましては、10月20日までとなっています。

現時点での支給状況は、本市の対象世帯14,789世帯のうち、すでに14,355世帯に支給されており、支給率は97.07%、支給額は6億3,668千円となっています。

申請期間までに申請されなかった方については、制度上辞退したものとみなされ支給できなくなりますので、今後も未申請の方々への周知について積極的に取り組みたいと考えます。

特に、一人暮らし、高齢者世帯に対しては、保健福祉部局と連携しながら進めていく予定です。

## オリーブ団地牛窓の取得について

岡山県は、平成21年度末をもって岡山県住宅供給公社を解散することを決定しており、現在公社で分譲を行っている5つの団地のうち、「しらうめ団地落合」と「オリーブ団地牛窓」の2団地について、地元市への買取協議があったところです。

オリーブ団地牛窓の開発は、当時牛窓町における過疎対策の一環として、住宅供給公社により事業が実施され団地開発が行われた経緯があります。市が買取して売却することにより、市場性のある価格設定での分譲や、新



規需要の呼び込み等、瀬戸内市の既存分譲団地である東町ひまわり団地、牛窓西浜団地との一体的販売による定住促進が図れるものと考えます。

本議会の補正予算にこのオリーブ団地牛窓の取得費を計上していますのでよろしくお願いいたします。

## 市民生活部関係

### 各地域クリーン作戦について

7月5日、12日、26日に例年実施していますクリーン作戦を、各地域の環境衛生委員さんを始め、市民の皆様のご協力により実施していただきました。地域の環境美化に対する意識向上が、今後益々図れるものと期待します。

### 備前広域環境施設組合について

備前広域環境施設組合では、ごみ処理施設の処理方法検討講習会や先進地現地視察等を行いながら、今後の施設建設に向けて具体的検討等を行っているところです。併せて環境影響評価を行っていますので、評価結果が出ましたら、逐次お知らせいたします。

以上のように、全体像が徐々にではありませが見えてきたことから、本市としても費用対効果の試算も含め、多方面からの検討を行いたいと考えます。

議員皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

## 新エネルギービジョン策定について

独立行政法人 新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO...ネド）の100%補助を受けて策定を行うことについては、2月議会でご報告したとおりですが、7月27日選定委員会を開催し、プロポーザル方式による委託業者の決定を行い、瀬戸内市での有効なる新エネルギーについて検討し、ビジョンを策定していきます。

## ハンセン病療養所の将来構想について

全国13園のうち沖縄県の2園はすでに将来構想を策定済みですが、他の11園では、現在も入園者自治会を中心として、将来構想策定に向け活動しているところです。

本市の2園（愛生園・光明園）についても、入園者自治会等を中心に「ハンセン病療養所の将来構想検討会」が立ち上がり、市も各関係部局の事務レベルでの参加を行い、情報交換等を行っているところです。

いずれにしましても、市として何ができるか、また入園者の意見を尊重しながら、療養環境を壊さない施策のバックアップがいかに行えるかなどを、議会並びに「長島の未来を考える特別委員会」をはじめとした議員の皆様方とも協議・協力しながら、総合的に考えていきたいと思っております。

## 子育て支援医療について

7月より子育て支援医療を開始しました。7月分の申請は、現在のところ274件で、医療給付費としては415,880円です。

申請書は、市役所本庁、支所をはじめ、8月からは逐次市内各医療機関にも置かせていただいています。

児童生徒の健康保持により、子育て支援が向上するものと期待しているところです。

## 保健福祉部関係

### 障害者グループホーム整備に伴う支援について

障害者グループホームにつきましては、瀬戸内市第2期障害福祉計画においても重点的に取り組むよう計画されています。

しかしながら、本市においてそうした事業に取り組もうとする指定障害福祉サービス事業者が現れないのが現状です。

こうしたことから、市におきましても側面的な支援が必要であるとのことで、牛窓東町教職員住宅のうち現在利用されていない2棟をグループホームとして有効活用を図るものです。

現在の教育委員会所管から福祉課へ障害者福祉住宅として所管替えを行い、グループホームとして使用する社会福祉法人等へ貸し出しをするもので、本議会におきまして関係の条例制定について提案していますのでよろしくお願いいたします。

## 住宅手当緊急特別措置事業について

国の経済危機対策の一環として実施されるもので、住宅を喪失、または喪失するおそれのある離職者等であって就労能力及び就労意欲のある者に対して、住宅手当を支給し、住宅及び就労機会の確保に向けたセーフティネット支援のための事業です。

本市においても、生活保護世帯の増加は見られるものの、当事業の対象者数や申請件数等については、予測が困難な状況ですが、国から示された対象者数の推計値等から所要の事業費を算定し、本議会に関連予算を計上させていただきますのでよろしくお願いいたします。

## 子育て応援特別手当（21年度版）について

現下の厳しい経済情勢を踏まえ、幼児教育期の負担に配慮する観点から、国の経済危機対策の一環として、本年度も子育て応援特別手当の支給が実施されます。

平成20年度の手当は、多子世帯の負担軽減ということで、第2子以降の子どもが対象でしたが、今回は経済情勢が引き続き厳しいことを踏まえ第1子まで拡大されました。

具体的には、生年月日が平成15年4月2日から平成18年4月1日までの全ての子どもが対象となり、1人あたり36,000円が支給されます。

なお、基準日は、10月1日となっておりますが、本市におきまして、930人が対象と見込んでおり、総額33,480千円の手当及び関係事務費2,127千円を本議会に計上させていただいています。

また、現在国から示されている今後の予定につきましては、12月11日以降受付を開始し、対象世帯の世帯主の口座に振り込むこととなります。

なお、20年度版の子育て応援特別手当の支給状況は、対象世帯は511世帯であり、8月21日現在未申請は3世帯ですが、この3世帯についても個別に連絡済みであり、期間内には申請がなされるものと思っています。

担当課におきましては、手当支給の目的を踏まえ、円滑な事務執行に努めていきたいと考えます。

#### 平成21年度女性特有のがん検診推進事業について

がんは、わが国において昭和56年から現在まで死亡原因の第1位です。

しかし、診断と治療技術の進歩によって早期発見、早期治療が可能となっており、がん検診の受診率の向上は極めて重要です。

特に女性特有のがんについては、検診率が低いことから国の経済危機対策における未来への投資に繋がる子育て支援の一環として、国の補正予算に措置されました。

本事業は、子宮がん、乳がん検診それぞれを国が定める特定の年齢の者

について、検診費用を無料とし、受診促進を図るとともに、正しい健康意識の普及及び啓発を図ることを目的とした事業です。

しかし、本市では7月までに検診を終了しているため、再度22年1月に集団検診の実施を計画いたしました。また、個別検診ができるよう専門医療機関と委託契約の準備も進めています。

このため、本議会におきまして検診委託料他所要の事業費等を計上しておりますのでよろしくお願いいたします。

#### 新設特別養護老人ホームの整備進捗状況について

邑久町福中に計画中の特別養護老人ホームにつきましては、運営予定である社会福祉法人藤花会が、7月21日付けで正式に社会福祉法人として認可されました。

今後建設に向け開発申請等各種申請や協議等が行われた後、着工となり、平成22年9月1日の開所予定となっています。

当施設は、特別養護老人ホーム定員50床、ショートステイ10床、小規模多機能型居宅介護施設定員25名となっており、当事業の実施により、待機者の解消をはじめ本市介護サービスの向上が図られるものと期待をしています。

なお、小規模多機能型居宅介護施設につきまして、補助制度が21年度から23年度に限り介護基盤緊急整備等臨時特例交付金に変わり、1施設

あたりの単価が増額となり、本議会に増額分 11,250 千円を計上させていただきますのでよろしくお願いいたします。

## 産業建設部関係

平成 21 年 8 月 9 日から 10 日にかけての大雨による災害について

8 月 8 日、日本の南で発生した熱帯低気圧の影響により、九州、中四国、近畿地方は激しい降雨に見舞われ、岡山地域でも 9 日 15 時 27 分、大雨警報、雷・洪水注意報が発令されました。

この熱帯低気圧は 9 日 21 時頃に台風 9 号となり、報道等でご承知のとおり、兵庫県佐用町や岡山県美作市では記録的集中豪雨による河川氾濫、崖崩れ等により、尊い人命が失われるなど大きな被害を被っています。

本市では、9 日の昼前から断続的な激しい降雨があり、一番多かった裳掛出張所観測で最大 24 時間雨量 145.5 mm、時間雨量 28.5 mm を記録しました。

この大雨により市道、農道等農業用施設、林道などの路面洗堀、路肩等法面崩落、崩土などの災害が発生しましたが、緊急を要する崩土撤去等応急対策に係る経費を補正 5 号として専決処分しています。

## 牛窓港護岸改修工事について

平成 21 年第 2 回 6 月議会の行政報告で申しあげました、牛窓港護岸改修につきましては、現在、県営棧橋に仮設の前島フェリ - 発着場が整備さ

れています。

今後、物揚場護岸工事に着手されますが、今年度工事は、フェリ - 乗場を含めない計画とされておりました。

しかし、県の調査によりフェリ - 乗場の機能低下が著しく、早期着手が必要として、フェリ - 乗場を含めることに計画変更されました。

県から占用許可を受けている旧観光センター、エ - ゲ館牛窓の撤去については、当初、今年度中は猶予があり、今後、県と調整しながら進める考えでしたが、先に述べました事情により早期の撤去を求められています。

本議会に所要の経費を計上しておりますのでよろしくお願いたします。

#### 牛窓海水浴場の閉鎖について

8月1日の兵庫県西部地域における集中豪雨により、流れ出たものと思われる葦、流木等の漂流ごみが、8月3日頃から牛窓海水浴場及びその周辺に大量に漂着しはじめました。

4日、5日は、管理運営を委託している牛窓町観光協会が回収いたしましたが、次々と漂着し、また9日の大雨以降更に増えたため、海水浴場として、安全な遊泳や水質が確保出来ない状況となりました。

このため、牛窓町観光協会や売店組合と協議の結果、23日まで開設予定でしたが11日には遊泳禁止とし、閉鎖いたしました。



この漂着ごみの撤去に係る経費を応急対策費として専決処分しています。

## 上下水道部関係

### 公共下水道事業について

邑久処理区につきましては、本年度施工予定の山田庄地内管渠工事は発注に向けて、現在事前の家屋調査を行っているところです。

また牛窓処理区につきましても、牛窓、長浜地内の管渠工事で支障となる上水道管移設工事の設計業務を進めています。

長船中央処理区につきましては、浄化センターの場内整備工事が日本下水道事業団から発注されたところであり、引き続き、汚泥処理設備工事および服部地内の幹線管渠工事につきましても9月中に発注される予定となっています。

### 農業集落排水事業について

美和・牛文地区、飯井地内の管路工事および、尻海地区、庄田・尻海地内の管路工事を発注し、着工したところです。

また美和・牛文地区のマンホールポンプ設備工事および、尻海地区の真空ステーション等の機械電気工事についても9月上旬に入札を予定しています。

公共下水道・農業集落排水事業、いずれの処理区についても、供用開始

区域の早期拡大に努めたいと考えます。

#### 吉井川の流況について

苫田ダムの貯水率も90%以上貯留しており、7月としては例年になく長雨により、今年は、渇水の危機は避けられ安定給水が確保できるものと考えます。

#### 災害応援について

山口市において、7月21日の豪雨により河川氾濫があり浄水場が浸水被害に遭い、約29,300戸が断水となりました。日本水道協会中四国地方支部を通じ、岡山県支部より応援給水の要請がありましたので、7月23日早朝から2日間にわたり2名を派遣し、応援給水活動に参加いたしました。

上水道は重要なライフラインであることから、日本水道協会では、災害時の応援体制の確立また、応援給水や復旧訓練なども実施しており、瀬戸内市も災害時のために訓練等に参加しています。

#### 上水道工事関係について

邑久幹線配水管布設替工事として、平成18年度より年次計画で邑久配水池から邑久町尾張地内までの主要管の石綿管改良を実施しています。

今年度は、邑久町下笠加地内の県道部を650m程度改良するため、9月中には入札を実施する予定です。

また、本庄地内の配水池建設工事においても、用地の地権者と買収交渉が整い、順次作業を進めています。

邑久処理区公共下水道工事に伴う山田庄地内配水管布設替工事は、入札を終え工事に着手しますが、スムーズに施工できるよう関係地区と十分協議したいと考えます。

**農業集落排水事業** 庄田地区に伴う配水管布設替工事につきましては仮設工事が完了し、現在下水道工事を実施しています。下水道工事完了後、本設工事を行う予定です。

#### 浄水場関係について

福山浄水場の浄水施設耐震診断業務を実施中です。診断の結果を踏まえ耐震補強を行い、引き続き安全な水道水の安定供給に努めていきたいと思っております。

#### 病院事業部関係

##### 新型インフルエンザ対策について

新型インフルエンザは、4月末にメキシコ等で発症が確認されて以来、5月中旬に国内で初めて感染者が確認され、6月下旬には岡山県内でも感

染者が確認されています。

瀬戸内市民病院では、5月初旬から発熱外来を設置し、感染の疑いのある方の診察を行っています。発熱外来を開始した5月8日から8月27日までの間に103人の方が発熱外来を受診されています。

7月末で、国内の感染者数は5千人を超え、WHO発表の世界の報告数は、約16万2千人を数えています。国内では8月に入って、15日には沖縄県の男性、18日には神戸市の男性、19日には名古屋市的女性、26日には同じく名古屋市的女性、27日には長野市の男性、29日にはたつの市の女性と枕崎市の女性が死亡され、8月29日までに、死亡者数は全国で7人を数えています。国内での感染の状況は、第1波の本格的な流行が既に始まっていると考えられ、夏休みが明けて学校が再開されると、さらに感染が急激に拡大する恐れがあると思われます。

瀬戸内市民病院では、引き続き発熱外来を設置し、今秋以降の第2波の流行に備えていきたいと考えています。なお、本議会に発熱外来を実施するため必要なプレハブ設置費用等の予算を計上していますので、よろしくお願いたします。

#### せとうち医療ネットワーク整備事業について

総務省が推進するユビキタスタウン構想（情報通信技術を集中的、効果的に活用して、地域住民が生活利便の向上、安心・安全を実感できる街づ

くり)へ向けての取り組みの一環として、先般、総務省より緊急景気対策事業として、実施したい事業があれば申請を出すようにとの通知があり、せとうち医療ネットワークの整備について事業採択してもらいたい旨の申請書を提出しています。

この事業は、市民病院と牛窓・裳掛・美和の各診療所にある患者さんの診療情報を相互に見ながら診察ができるようにするため、情報通信機器の整備とソフト開発を行うもので、事業費は約3千2百万円を予定しており、このうち総務省から3千万円を上限として補助されるものです。総務省より採択の正式の内示がありましたら、本議会にこの事業の実施に必要な補正予算を、追加で提案したいと考えていますので、よろしく願いいたします。

## 消防本部関係

### 消防・防災関係について

火災・救急の状況ですが、火災については、本年1月から8月28日までの件数は21件で、昨年同期より5件増加しております。火災種別で見ますと、建物火災7件、林野火災5件、その他火災9件となっており、建物火災については1件減少しています。

今後も火災予防については、予防行政の充実強化と、特に大切な生命と財産を火災から守るために、住宅用火災警報器の早期設置を、より一層推

進していく予定です。

つぎに、救急についてですが、8月28日までに913件の出動があり、前年同期より25件減少しており、昨年から全国的にも若干の減少傾向にあります。

しかし、新型インフルエンザの発生について、消防本部の対応としては、救急要請は大幅に増大することが予想され、その業務を担うことから、業務の重要性と感染防止策の必要性を十分認識するとともに、救急業務のみならず、消火を始めとした必要な業務を継続できるようにするため、総務省消防庁が示している消防機関における新型インフルエンザ対策のための業務継続計画ガイドラインにそって、現在当本部の業務継続計画を策定中です。

#### 消防施設の整備について

先の7月臨時議会に提案、ご理解をいただきました消防指令設備（指令台）と牛窓分駐所の消防ポンプ自動車の更新については、先月の17日、いずれも入札を行い、消防指令設備（指令台）は沖電気工業株式会社中国支社に、消防ポンプ自動車は株式会社岡山森田ポンプに落札決定いたしました。

本議会中に契約の議案を提出し、ご審議いただきたいと考えますので、一日も早くこの事業が完成し、更なる安心・安全なまちづくりが実現でき

るようご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本議会でご提案申し上げます案件は、条例3件、補正予算13件、その他22件、計38件でございます。

よろしくご審議をいただき、適切なご決定をいただきますようお願い申し上げ、市長部局のご報告を終わらせていただきます。

平成21年9月1日

瀬戸内市長 武久 顕也